

第二期武蔵野市学校施設整備基本計画策定支援業務委託  
に関する事業者選定プロポーザル  
審査講評

令和8年5月

第二期武蔵野市学校施設整備基本計画策定支援業務委託事業者選定委員会

はじめに

本市の市立小中学校施設の多くは昭和 30 から 50 年代に建築され、最も古い学校施設は、令和 2 (2020) 年に築後 60 年を迎えている。市では、「公共施設再編に関する基本的な考え方」(平成 25(2013)年 3 月)において、既存施設を原則 60 年は使用することとしており、学校施設もこの方針に基づき維持管理を行ってきたが、築後 60 年が到来しているため、計画的に更新を行う必要がある。

学校施設の更新は多大な費用と時間を要し、市政に大きな影響を与えるため、着実かつ計画的に実施できるよう、令和 2 (2020) 年 3 月に武蔵野市学校施設整備基本計画(以下、「第一期計画」という。)を策定し、今後 20 年間余を見据えた目指すべき学校施設の基本的な方向性と、具体的な施設の整備方針及び標準的な仕様を定めた。これまで、この計画に基づき、武蔵野市立第一中学校及び第五中学校の新校舎が完成し、今後、武蔵野市立第五小学校及び井之頭小学校の改築を控えている。

令和 7 (2025) 年 7 月に第二期武蔵野市学校施設整備基本計画策定審議会(以下、「審議会」という。)を設置し、令和 8 年度までの予定で第二期武蔵野市学校施設整備基本計画(以下、「第二期計画」という。)の策定作業を進めている。

令和 8 年度の第二期計画策定に際し、市民に分かりやすい計画とすることに課題がある。本業務を本市の学校施設整備への理解が高く、学校施設整備に対する高い専門性を有し、市民が手に取りたくなるような高いデザイン性、複雑な施策を理解しやすいイメージ・イラストの作成、配置レイアウトの工夫といった計画冊子等の編集に秀でた事業者に委託するため、公募型プロポーザルを実施した。

審査は行政関係者 4 名で構成する「第二期武蔵野市学校施設整備基本計画策定支援業務委託事業者選定委員会」(以下、「選定委員会」とする。)により行った。審査にあたっては、各委員がそれぞれの専門分野での経験や知識を出し合い、厳正かつ慎重な議論を重ねたうえで、本事業にふさわしい設計者を公正かつ適切に選定することに尽力した。令和 8 年 3 月 26 日に実施した選定委員会における審議及び審査を終えて優先交渉権者を選定したので、ここに審査講評を取りまとめる。

#### 第二期武蔵野市学校施設整備基本計画策定支援業務委託事業者選定委員会

- |     |        |                          |
|-----|--------|--------------------------|
| 委員長 | 真柳 雄飛  | (武蔵野市教育部長)               |
| 委員  | 村越 祐介  | (武蔵野市教育部教育企画課学校施設計画担当課長) |
| 委員  | 田中丸 善史 | (武蔵野市教育部教育企画課学校施設担当課長)   |
| 委員  | 西館 知宏  | (武蔵野市都市整備部建築指導課長)        |

## 1. 審査

応募者より提出された技術提案書を基にプレゼンテーション審査及びヒアリングを行い、次に示す観点などから審査委員会により総合的に評価及び審査を行った。

開催日 令和8年3月26日(木)

開催場所 武蔵野市役所 西棟8階 812会議室

### 【審査の評価基準】

評価項目		評価基準	配点
技術力及び実施体制	主任技術者	<p>学校改築に関する基本構想(マスタープラン)策定支援業務又は設計業務等の実績があり、本業務への展開が期待できるか。</p> <p>【計算式】 5点×区分係数(公立小中学校1.0、その他公共施設0.6)×受注形態係数(単独1.0、共同企業体(代表企業)0.8、共同企業体(代表企業以外)0.6、協力会社0.3)に応じて評価する。</p>	5
	主たる担当者	<p>学校改築に関する基本構想(マスタープラン)策定支援業務又は設計業務等の実績があり、本業務への展開が期待できるか。</p> <p>【計算式】 15点×区分係数(公立小中学校1.0、その他公共施設0.6)×受注形態係数(単独1.0、共同企業体(代表企業)0.8、共同企業体(代表企業以外)0.6、協力会社0.3)に応じて評価する。</p>	15
		<p>学校改築に関する基本構想(マスタープラン)策定支援業務の実績があり、本業務への展開が期待できるか。</p> <p>【計算式】 5点×区分係数(公立小中学校1.0、その他公共施設0.6)×受注形態係数(単独1.0、共同企業体(代表企業)0.8、共同企業体(代表企業以外)0.6、協力会社0.3)に応じて評価する。</p>	5
	全体	<p>業務の実施にあたり必要な知見を持っている者により、業務内容に十分に対応可能な体制がとられ、適切なスケジュールが組まれているかにより以下の5段階で評価する。</p> <p>A 極めて良好 A' 良好 B 中位 B' やや不十分 C 不十分</p>	15
		<p>現状認識が明確であり、当該業務の目的、条件及び内容の理解度が高く、市の求める内容に合致した提案がなされているかにより、以下の5段階で評価する。</p> <p>A 極めて高い A' 高い B 普通 B' やや低い C 低い</p>	30

取 組 姿 勢 等	コミュニケーション能力	質問に対する応答が明快で、かつ、迅速かどうかについて、以下の5段階で評価する。 A 極めて高い A' 高い B 中立 B' やや低い C 低い	10
価格点		価格点×(最低提案価格/自社の提案価格)	20
総合評価			100

注

- 1 評価点は、配点×評価係数とし、総合点により順位を決定する。
- 2 評価係数は、A = 1、A' = 0.8、B = 0.6、B' = 0.4、C = 0.2とする。

## 2. 結果

第一優先交渉権者 株式会社日建設計

総合点数：94点 / 100点満点

## 3. 第一優先交渉権者に対する寸評

現行の武蔵野市学校施設整備基本計画（令和2年3月策定）に基づき進めてきた学校改築事業（第一中学校、第五中学校、第五小学校、井之頭小学校）への理解度の高さ、学校施設整備に対する高い専門性、市民が手に取りたくなり、複雑な施策を理解しやすいイメージ・イラストが具体的に提案されている点が評価できる。

また、主任技術者と主たる担当者の十分な実績と、その上でチーム体制や第二期武蔵野市学校施設整備基本計画策定審議会のスケジュールを踏まえた的確なスケジュールが組まれている点も評価できる。